

西川における水質調査結果について

白山市内の地下水から国の指針値を超過したPFOS及びPFOAが検出されたことを踏まえて、金沢河川国道事務所が手取川下流域の5地点の水質調査を行った結果、1地点（西川合流点付近）で、PFOS及びPFOAの合算値が、国の公共用水域の指針値※を超過したことが確認されました。（令和8年3月24日 資料提供済み）

※ 国の公共用水域の指針値

- ・PFOS 及びPFOA の合算値 50 ng/L 以下（ng（ナノグラム）は10億分の1グラムを表す単位）
- ・指針値は、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2L飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

<前回公表結果>

別紙地点A 西川合流点付近(ng/L)：PFOS 及びPFOA 合算値 83、PFOS 13、PFOA 70

これを受けて、県では、西川におけるPFOS及びPFOAの汚染状況を把握するため、上流3地点で水質調査を実施したところ、2地点（呉竹橋、浅畠橋）で国の公共用水域の指針値を超過しましたが、最も上流の1地点（湊町3号橋）では指針値以下でした。

PFOS及びPFOAは、様々な業種や用途で利用されてきたことから、排出源の特定は困難であり、今後は最も濃度の高かった浅畠橋において継続的に監視していきます。

○調査結果

(単位：ng/L)

No.	地点名	PFOS 及びPFOA 合算値	参考	
			PFOS	PFOA
地点①	呉竹橋	55	13	42
地点②	浅畠橋	59	11	48
地点③	湊町3号橋	15	9.3	5.9

※ 令和8年4月3日採水

(参考)

PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）・PFOA（ペルフルオロオクタン酸）について

- ・有機フッ素化合物の一種であり、PFOS については、半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOA については、撥水剤^{はっすいざい}、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに使われてきました。
- ・現在は、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）」に基づき製造・輸入等を原則禁止しています（PFOS は 2010 年、PFOA は 2021 年）。
- ・健康への影響について、コレステロール値の上昇、発がん、免疫等との関連が報告されていますが、どの程度の量が身体に入ると影響がでるのかについては十分な知見はありません。国内において、PFOS、PFOA の摂取が主たる要因とされる健康被害が発生したという事例は確認されておりません。
- ・環境省は、令和 7 年 6 月に、PFOS 及び PFOA について、内閣府食品安全委員会が行った食品健康影響評価の結果等を踏まえ、最新の科学的知見に基づき、水道における「水質基準」を新たに設定し（令和 8 年 4 月 1 日施行）、水環境中（公共用水域や地下水）の「指針値（暫定）」を「指針値」に見直しました（いずれも PFOS と PFOA の合算値で 50ng/L 以下）。
- ・これにより、水環境中の指針値超過の対応として、地域の実情に応じて、飲用摂取の防止、継続的な監視調査、汚染範囲の把握等の追加調査等を行うことが期待されます。

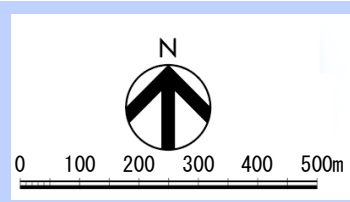
環境省「PFASハンドブック」（令和 7 年 12 月）、リーフレット「PFOS・PFOA とは？」（令和 6 年 8 月）の記載内容をもとに作成

【問合せ先】

石川県生活環境部環境政策課

電話 076-225-1491

西川におけるPFOS及びPFOAの調査地点図（採水日R8.4.3）



No.	地点名
地点A	西川(合流点付近) ※R8.3.24資料提供済
地点①	呉竹橋
地点②	浅昌橋
地点③	湊町3号橋